

ひとつの「まち」ができるまで

地域とともに進めるSC開発

ひとつのSCを新規出店するためには、長期にわたる綿密な計画を立て、問題を慎重に解決していく必要があります。開発や建設にあたっては、自治体や地元住民の皆さまのご理解が欠かせません。2011年3月にオープンした2つのSCができるまでを振り返ってみました。



山梨県内に当社初の出店となるイオンモール甲府昭和。昭和町は甲府盆地の中央に位置し、古くから穀倉地帯として発展してきました。県南部から甲府市街へ向かう昭和バイパスに隣接する都市近郊立地型のSCとして、地域の皆さまに快適なショッピング環境をご提供してまいります。

イオンモール甲府昭和

2011年3月17日 グランドオープン



企画開発

■ 計画地は甲府市街から車で約20分。昭和町常永土地区画整理事業の核となる商業施設として、2004年にSCの開発がスタートしました。



■ イオンモール甲府昭和の敷地面積は約125,000m²。施設の内容、環境や交通への影響など、さまざまな点について慎重に検討を重ねました。

建設



■ 東京ガス(株)が開発した「ソーラークーリングシステム」を国内の民間商業施設として初めて採用。ソーラー集熱パネルで太陽熱を集めて作られた温水を夏は冷房に、冬は暖房に利用できる先進の環境設備です。



■ EV(電気自動車)によるご来店にいち早く対応し、屋根の付いた充電ステーション(中速)を3台分設置しています。当面の間は無料でご利用いただけます。



■ レストラン街にはワインセラーをイメージしたシックなデザインを採用。そのほかにも、地元の名産品であるワインやフルーツのモチーフやカラーを随所に用いています。



■ 安心してショッピングをお楽しみいただくために、山梨県では初となる警察官立寄所を敷地内に設置。中には事務ができるスペースも用意しています。

■ SCの建設は数百家が参加する大プロジェクト。建設業者を通じて多くの仕事が地元企業へ発注され、さまざまな調整をしながら工事を進めます。

リーシング

■ 専門店の約7割が山梨県初出店です。イオンモールがオープンするならばぜひ出店したいという声が多く、地元を含めて多彩な専門店にご出店いただきました。特に子供服などを充実させています。



開店へ

■ オープン前には地域の皆さまと「イオンふるさとの森づくり」植樹祭を実施。当初の予定を大幅に上回る約3,000名の方にお申し込みをいただき、SCへの大きな期待が感じられました。



幼稚園に通う長男の記念になればと思って植樹祭に参加してみました。初めての経験でとても楽しんでいましたよ。いつか大きくなって今日のことを忘れてしまっても、ずっとここで自分が植えた木の成長が見られるのがいいですね。実は2~3年前からイオンモールが出店するという話を聞いていたので、待ちに待ったオープンなんです。ここに来ればひととおりの買い物すべて済みますから、毎日がとても便利になると期待しています。

甲府市在住
藤田 亜由未 様



■ 合同説明会を開催し、各専門店がオープンにむけてスタッフを採用します。専門店が採用した従業員も、必ずイオンモールが実施する教育訓練に参加していただきます。

■ ソフトオープン当日の3月11日に東日本大震災が発生。グランドオープンの式典は中止となり、館内節電や計画停電へのご協力をいただいたのオープンとなりましたが、多くのお客さまから励ましのお言葉をいただきました。

開発から携わり、さまざまな苦勞がありました。皆さまのご協力をいただいて県初のイオンモールをオープンすることができました。他県のイオンモールを視察していただくなど、ていねいな説明を重ねて地域の皆さまとの信頼関係を築けたのがよかったです。新規SCのオープンをゼネラルマネージャーとして迎えられるのは幸せなことです。「山梨にイオンモールができてよかった」と言っていただけでも、お客さまが期待している以上のサービスを提供していきたいですね。

ゼネラルマネージャー
上春 俊樹

2011年3月18日 グランドオープン



福岡県の南端に位置し、かつては三池炭鉱を中心に日本の代表的工業都市として拡大した大牟田市。計画地となった岬町地区は、有明海沿岸の主要都市を結ぶ「有明海沿岸道路」の大牟田ICに近接。筑後地域初となる2核1モール型のSCとして、皆さまの暮らしの交流拠点となることを目指します。



■ 2008年に大牟田市から佐賀県鹿島市に至る主要都市を結ぶ有明海沿岸道路が開通。筑後地区から計画地へのアクセスがスムーズになりました。

■ 三池炭鉱が閉山し、人口の減少が進んでいた大牟田市。周辺住民や町内会への説明会では「大牟田の街を元気にしてほしい」という声が多く寄せられました。



■ フロアにはベビーカーや車椅子を動かしやすい磁器タイルと、長く歩いても疲れにくいカーペットの貼り分けを実施。どなたも移動しやすいように配慮しています。

企画開発



■ かねてより計画地を広域から人が集まる交流拠点にしたいと考えていた大牟田市と意向が一致。以前に工場誘致が計画されていたため、4車線道路などのインフラも整備されていました。



■ 以前から行われていた鹿児島大学の調査で、計画地には約25種類の希少生物がいることが判明しました。そのため敷地の約5,800m²をビオトープとして保全しています。

■ SCをオープンするにあたっては、まず地域の特性に合わせたコンセプトを策定します。イオンモール大牟田の基本コンセプトは「やさしさにぎわいのある町」。SCづくりのすべてにこの考え方が貫かれています。



行政、地元、私どもで三位一体となった開発ができるのがイオンモールの強みです。いかにして皆さまと確かな信頼関係をつくるかを大切に考えています。

開発本部 西日本開発部 部長
浅対 亨

建設



■ 市消防本部からの要請により、高度な救急医療を必要とする患者を搬送するためのヘリポートを敷地内に整備。地域医療に貢献するとともに、災害時にも活用できます。



■ リングロードと呼ばれる敷地内を周回する車道を設置。これにより約4,800台の駐車場へのアクセスがスムーズになり、周辺道路や敷地内の混雑を緩和します。



■ 炭鉱跡のレンガ造りや旧三井港倶楽部など、石炭の町として栄えた古き良き大牟田の町並みを新しいスタイルで表現した4,300m²の「ありあけコート」を設けました。

リーシング



■ かつては市内に映画館が9館もあったという大牟田の皆さまが心待ちにしていた、筑後地区唯一となるシネマコンプレックス「セントラルシネマ」。

■ 九州初が10店舗、筑後地区初が76店舗と、皆さまに喜んでいただける専門店が揃いました。地元からの直接出店も7店舗あり、ひとつのSCで最新のトレンドも地域の老舗もお楽しみいただけます。

開店へ

■ SC全体で約2,000名の雇用を新たに創出しました。休憩室には従業員専用のコンビニエンスストアやパウダールームを設け、職場環境の向上を図っています。

■ 市および西鉄バスとの協議で、SCから大牟田駅、商店街、市立総合病院を結ぶバス路線「イオンモール大牟田線」を新設。高齢者の方にも便利にご利用いただけます。

■ 災害による停電、断水などを想定して受水槽に300トンの飲料水を確保。簡易トイレも速やかに設置できるように準備を整えています。

■ ご利用額の一部が「大牟田市まちづくり基金」に寄付される「おおむた大蛇山WAONカード」を発行。大牟田市中心地区商店街加盟店でもご利用いただけます。



福岡、佐賀、熊本、さらには長崎県の島原地区も含めた4県から来店いただける広域集客型のSCを目指しています。ベビーカーを押して3世代で楽しそうに歩くご家族を見るだけで、ここへ出店させていただいてよかったと思います。このSCが20年、30年と皆さまから愛されるようになるための遺伝子を残すのが私たちの責任だと考えています。

ゼネラルマネージャー
山本 幸男

